

令和7年度第1回 独立行政法人国立重度知的障害者  
総合施設のぞみの園運営懇談会議事要旨

令和7年10月28日(火)  
13:30~15:00  
田中資料センター

I 開 会

II 理事長挨拶

III 議 事

1. 独立行政法人有識者会議 令和6事業年度の業務実績評価について
2. 入所利用者の状況
3. のぞみの園における業務の取組状況
  - (1) 著しい行動障害を有する者等及び医療的ケアが必要になった者への支援について
  - (2) 第11次寮再編について
  - (3) ターミナルケアについて
  - (4) 令和7年度 調査・研究テーマ等の実績・予定
  - (5) 令和7年度 セミナー・研修会等の実績・予定
  - (6) 令和7年度 実務研修等の実績・予定
  - (7) 令和7年度 援助・助言の実績
  - (8) 診療所見直し及びあかしあ寮の再編後の状況
  - (9) 能登半島地震における被災者の受け入れについて
4. 各種ウイルス等の感染状況等(令和7年度上半期)
5. 事故等の報告について

IV 閉 会

【議事に対する主な質疑(○:委員 ●:法人)】

独立行政法人有識者会議 令和6事業年度の業務実績評価について

- : 調査研究における研究ダウンロード数が数値目標の10倍位近くになっているが何か理由があったのか。
- : 研究データの整理や発信の仕方を工夫し検索しやすく改善したことでヒットしやすくなったことが理由の一つと考えられ、結果的に多くの方に閲覧してもらえた。
  
- : 地域移行した2人はどのくらいの年齢でこういったところに移行したのか。
- : 61歳と62歳。2人とも法人が設置するグループホーム「やちよ」、「のぞみ」に移行した。

著しい行動障害を有する者等及び医療的ケアが必要になった者への支援について

- ：著しい行動障害を有する方の地域移行について、自宅に帰るのかまたは他の病院に移るのか。
- ：グループホームや障害者支援施設が主な移行先となっている。
  
- ：著しい行動障害を有する方の入所待機者が30名以上とのことだが、こういったことで受け入れが難しいのか、計画的に行っているのか。
- ：利用者個人ごとの特性に配慮した受け入れを行っているので、待機されている方がいる。
  
- ：旧コロニーの利用者が将来的に減少してきたときに、職員は著しい行動障害のある利用者への支援にシフトしていくのか。
- ：職員本人の意向や能力的なものもあるので、事前に研修を行うなど無理なく異動できるように法人内でも検討を行っている。

#### ターミナルケアについて

- ：ACP（人生会議）についてどのように活用されているのか。
- ：個別支援計画などを含め、利用者本人の意思を尊重し、利用者本人が一番理想的だと思われる支援を行うべく活用している。

#### 調査・研究について

- ：調査研究を行っている職員はどのような方を配属されているのか。
- ：今配属されている職員は、全て支援現場を経験している職員である。

#### 援助・助言について

- ：援助・助言の件数は延べ件数なのか。
- ：お見込みのとおり、延べ件数で計上している。

#### 能登半島地震における被災者の受け入れについて

- ：能登半島地震における被災者は施設利用者のみを受け入れているが、施設で働いていた職員は受け入れていないのか。
- ：施設の職員は来ていない。このため、のぞみの園の職員で支援している。
  
- ：被災者を石川県内の事業所等へ地域移行するというのは、地元である石川県の事情もあるので、のぞみの園でコントロールするのは難しいのではないか。
- ：主体は石川県にあるが、受け入れているのぞみの園としてもスムーズに地域移行が進むよう要請を行っていく。

#### 事故等の報告について

- ：利用者への誤与薬はどのように見つかるのか。
- ：誤与薬については、様々なチェック体制を敷いており、そのチェック時に発見できている。

了